

第2章 こども・若者を取り巻く状況

※次の項目を表・グラフを用いて説明する（作業中）

1 人口や少子化の状況・ 人口推移（旭川市統計）

～10年間で3万人減少（15歳未満で9千人減少）

世代比率では，15歳未満：11.6% → 10.0%

65歳以上：28.7% → 35.3%

・ 出生数，合計特殊出生率（旭川市保健衛生年報）

～出生数 H25：2,449人 → R4：1,612人（▲837人）

出生率 H25：7.2% → R4：6.3%

・ 婚姻件数（旭川市保健衛生年報）

～婚姻件数 H25：1,775件 → R4：1,203件

婚姻率 H25：5.2% → R4：3.7%

2 こども・家庭の状況・ 世帯数推移（国勢調査）

～世帯数 H17：148,081 → R2：155,625（+7,544世帯）

※単身世帯の増加が著しい（+17,291）

・ こどものいる世帯の世帯類型の状況（国勢調査）

～6歳未満の子のいる世帯 H17：12,941 → 9,563（▲3,378世帯）

※一方で核家族割合は H17：90.0% → R2：93.6%

・ 世帯の就労状況（ニーズ調査）

※共働きが増加の傾向にあると予想（数値検証中）

・ 子育て世帯の悩みや不安感（ニーズ調査）

※5年間と比べ大きな変動要素なし

・ 子ども総合相談センター相談件数等**3 第2期子ども・子育てプランの振り返り**

・ 数値的な評価・検証は計画の総体に対する評価としてはなじみにくい（個々の施策が全体的にどの程度，またどのように影響したか測りがたい）

・ 5年間を通じて実現したことや，引き続く課題，新たな課題などを整理し，これらに対しての本市の取組について，総括的なコメントをしていく予定